

行政視察報告

産業経済常任委員会

＊視察日：平成27年11月10日～12日
＊視察先：佐賀県小城市 佐賀県有田町 熊本県菊池市

「小城市」ふるさと納税の取組みについて

小城市では、平成26年度から寄付に
対するお礼の品を充実させ、ふるさと
納税専門のポータルサイトを利用して
幅広くPRを開始したところ、前年度
比約580倍の総額5億1196万円
の寄付を集め、全国で第8位の実績を
残されています。

寄付者の大部分は首都圏在住の方で、
肉の他には米、水等もランキングして
おり、重い
ものを購入
して運びた
くないとい
う首都圏の
住宅事情も
影響してい
るのではな
いかと分析
されていま
した。寄付
者からの応



小城市のふるさと納税の取組み

援メッセージとして、「行ってみよう」とい
う言葉が多いとのことでしたが宿
泊施設が少ないため、寄付で興味を
持って頂いた方に、実際に観光等で来
てもらったための取組みに繋げにくいこ
とができず非常に残念とのことでした。
奥州市としてもさらに積極的に取組み
を進めていくべきと感じました。

「有田町」日本磁器誕生・有田焼 創業400年事業の取組みについて

有田焼の魅力を発信するための国内
主要百貨店における展示会・催事の開
催、まちなかへの観光集客イベントの
開催、小学生を対象とした「有田キッ
ズ検定」等を展開されているとのこと
でした。やる気のある町民や事業者の
企画を支援する「やる気モリモリ支援
事業」を実施しており「有田・サンタ
プロジェクト」は、多くのマスコミに
取り上げられ好評を博していること
とでした。

人材育成の面では、平成28年4月よ
り、佐賀県立有田窯業高等学校が佐賀大
学芸術地域デザイン学部に移行予定と
なっており、より専門性の高い人材の
育成が期待されているとのことでした。

「菊池市」菊池ブランドの確立・ 畜産業の振興について

菊池市は、豊かな水資源と肥沃な大
地を活かした農林畜産業を基幹産業と
しており、その肥沃な大地から生まれ
た農林畜産物を、市独自の安全基準で
ある「菊池基準」の普及や、インター

ネットショップ「菊池まるごと市場」
の活用、6次産業化の支援等により
「菊池ブランド」として確立するため
の取組みを進めております。
菊池市では、このような一連の取組
みにより農林畜産物をブランド化・高
付加価値化し、市長マニフェストでも
ある「稼げる農業」を目指して取組み
を進めているとのことでした。

議会運営委員会

＊視察日：平成27年11月11日～13日
＊視察先：新潟県新潟市 新潟県柏崎
市 栃木県宇都宮市

「新潟市議会」議会改革推進会議 の取組み・議会報告会について

新潟市議会では平成23年7月に、不
断の改革に取り組むための推進組織と
して「議会改革推進会議」を設置し、
「通年議会」や「新年度議案勉強会」
など14項目

について検
討しており
ます。また、
平成24年5
月から「議
会報告会」
を市内8つ
の行政区を
単位に、平
成26年5月
まで5回開



新潟市議会の視察

催しましたが、年々参加者が減少した
ことから、開催形態を見直しました。
「新潟大学」「新潟医療福祉大学」「新
潟国際情報大学」などの学生を対象を
絞り、「新潟市のまちづくり」をテーマ
にワークショップ方式で議員と意見交
換を行なうなど、新潟市の特徴を活か
した報告会となっております。

「柏崎市議会」通年議会の運営・ 請願人からの趣旨説明・タブレツ ト端末の導入について

柏崎市議会では平成25年5月から通
年議会制を採用し、会期は5月1日か
ら翌年の4月30日までとなっております。
議会は市長が招集し、一度招集された
後、毎年5月1日になると自動的に会
期が始まり、そのサイクルは議員の任
期中4年間継続されます。専決処分事
項を改めることになりましたが、突発的
な事故や維持補修等に関する補正予算
などは従来どおり専決処分として指定
されておりました。

「宇都宮市議会」反問権・タブレツ ト端末の導入に係る検討経過・広 報聴聴委員会について

宇都宮市議会の広報広聴委員会の特
徴的な取組みとしては「議場ジャズコ
ンサート」「宇都宮ジュニア未来議会」
「1日議長」「小学生との意見交換会」
など、本来の議会運営とは別に議会を
身近に感じてもらうための工夫が施
され、魅力的な取組みが行なわれてお
りました。